

現在の卒業式では、オーケストラによる『心と言葉と行いと生活を以て』中のコラールの奏楽がある。この件に関する経緯と、申し送りメモ。(2015年3月)

---

卒業式での奏楽を、これまで「G線上のアリア」から、同じバッハの『心と言葉と行いと生活を以て』Herz und Mund und Tat und Leben (BWV 147) 中のコラール（一般に「主よ、人の望の喜びよ」で知られる）に変更した。

「G線上のアリア」の奏楽が必ずしも好評ではない？

学務部長経由でオーケストラに意見を聞いたところ、曲目は決まっていて変更できないと思っていたこと、また対応可能であるのは、「ハンガリアン舞曲」と上記の曲の二曲、とのことであったので、上記曲に決定した。

今後もこの曲とするのか、検討してもよい。

----

三重大学の教育目標「4つの力」との関連

Herz (心[臓]) 「感じる力」

Mund (口、言葉 logos、logic) 「考える力」

Tat (行い、[他者への]働きかけ) 「コミュニケーション力」

Leben (生[活]) 「生きる力」